

## 希望が丘文化公園基本計画の策定について

### 1 背景

希望が丘文化公園は年間約 90 万人が来園する中、開園後 40 年以上が経過し、社会情勢や利用者ニーズの変化に応える満足度の高い公園づくりが求められている。また、平成 32 年の東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会や平成 36 年の本県での国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催に向けて、スポーツ・健康づくりの機運が高まっている。このような背景を踏まえ、平成 27 年 12 月に「希望が丘文化公園将来ビジョン」を策定し、さらに希望が丘文化公園の機能強化や関係機関の連携、施設の更新等を着実に実施していくため「希望が丘文化公園基本計画」を策定することとした。

### 2 検討の経過と主な論点

昨年度、利用者や関係機関、有識者等の意見を伺いながら、「各施設および事業の利用の状況と課題」「各施設の老朽化の状況」「スポーツ活動や自然体験活動の重要性」「希望が丘文化公園の特徴と今後の取組の可能性」「周辺施設との連携の可能性」等について分析・検討を進めてきた。引き続き、丁寧に利用者、関係機関等の意見を伺いながら内容を調整・検討し、今年度中に基本計画を策定する。

#### <経過>

平成 28 年度

- 5 月 18 日 検討の進め方について常任委員会で報告
- 8 月 5 日 希望が丘文化公園利用者懇話会 (構成:利用者団体)
- 8 月 24 日 希望が丘文化公園運営推進協議会 (構成:関係市町等)
- 10 月 18 日 第 1 回希望が丘文化公園基本計画検討懇話会 (構成:有識者)
- 12 月 1 日 第 2 回希望が丘文化公園基本計画検討懇話会
- 3 月 8 日 検討状況について常任委員会で報告

#### <主な論点>

- ・開園後 40 年以上が経過する中で変化してきた利用ニーズや周辺の施設の立地等を踏まえ、今後どのような役割を公園が果たすべきか。
- ・「国体主会場選定評価報告書」の付帯意見を踏まえ、本県での国民体育大会・全国障害者スポーツ大会の開催も契機として、希望が丘文化公園をスポーツ・健康づくり等にどのように活用していくか。
- ・今後の活用の方向性を踏まえ、開園後 40 年以上が経過し老朽化している施設の整備等をどうするか。

### 3 基本計画の期間

平成 30 年度 (2018 年度) ~平成 34 年度 (2022 年度)

#### 4 スケジュール（予定）

- |       |       |                                       |
|-------|-------|---------------------------------------|
| 平成29年 | 7月中旬  | 基本計画骨子案（社会情勢の変化や国体開催等を契機とした公園の今後の方向性） |
|       | 10月上旬 | 基本計画素案（方向性を踏まえた事業・施設の整備等の方針案）         |
|       | 12月中旬 | 基本計画パブコメ案                             |
| 平成30年 | 1月    | 意見・情報の募集                              |
|       | 3月中旬  | 基本計画（意見・情報の募集結果）                      |
|       | 3月下旬  | 基本計画策定                                |